

## 事例 8 トヨタ自動車株式会社

～「健康チャレンジ 8」として、8つの健康習慣改善（適正体重、朝食、間食、飲酒、運動、禁煙、睡眠、ストレス）に取り組み、**全社・職場単位・年齢別に数値を見える化**～

<b>1 企業の概要</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>○世界有数の自動車メーカー。</li><li>○従業員数は、連結で約 37 万人。</li></ul>
<b>2 健康確保対策の特徴</b>
<p>(1) 取組の体制、経緯、方針</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○本社の安全健康推進部 健康推進室が中心となって全社的な取り組みを企画、各工場にスタッフを配した健康支援室と共に展開。</li><li>○社長による健康宣言。</li></ul> <p>(2) 取組の内容、目標設定、成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○特徴的な取組は、「健康チャレンジ 8」。</li><li>8つの健康習慣改善（適正体重、朝食、間食、飲酒、運動、禁煙、睡眠、ストレス）に参加し、健康を保持増進するもの。</li><li>○「健康チャレンジ 8」に関し、メタボ、高血圧、糖尿病、高脂血症、高尿酸血症、肝臓病、腰痛・手足のしびれ等について健康習慣の実践数が多いほど罹患率が低いという社内エビデンスをふまえた施策。心身の疾患がなかった従業員の実践数（平均値）を目標値として設定。</li><li>○年に 2 回、各部の部長に対して部員の「実践数の平均値」、「各習慣（8つ）の実践率」を表した「職場結果」をフィードバック。全社における位置づけ、各習慣別の強み弱みの明確化。</li><li>○「職場結果」を確認した各部からの依頼に応ずるかたちで産業保健スタッフが「健康出前講話」を実施（弱みを補完 or 強みを伸ばす等々）。各部毎に職場を主体とした健康づくり活動を企画、展開。</li><li>○独自に健康スマホアプリを開発、キャンペーン実施。「健康チャレンジ」では 8 つの健康習慣について個人が目標を設定、毎週、達成状況を入力。一定の基準クリア者に対して健康保険組合の事業に使用できるポイント付与。「歩数チャレンジ」では 1 日あたりの平均歩数でランキングみえる化。またキャンペーン期間中の平均歩数が 7,000 歩以上の対象者に先述のポイント付与。</li></ul> <p>(3) 社会的な評価</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○健康経営優良法人 2018</li><li>○安全衛生優良企業</li></ul> <p>(4) 自社の状況（強み・弱み等）を踏まえた工夫や、取組が上手くいくポイント</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○過去からの健診データに基づくエビデンスをふまえた施策。</li><li>○施策のターゲットとする健康習慣を明確にし、施策の評価指標およびその目標を全社で共有。全社目標達成のために工場別の目標を落とし込み、職場主体の活動を促進。</li></ul>